

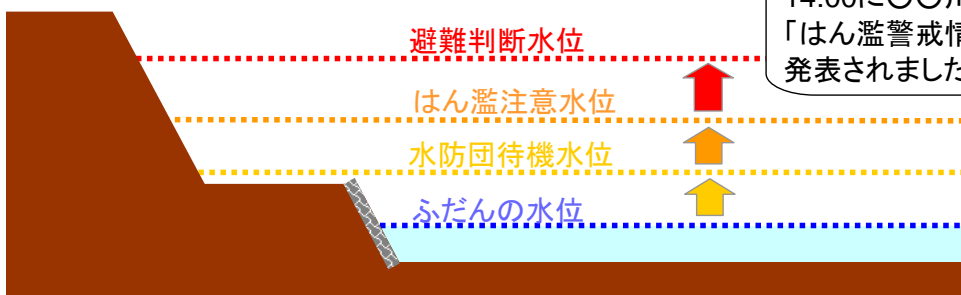
2. 滋賀県が今後実施したい公助 (住民支援型関係)

21

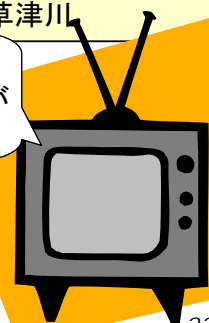
現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～洪水予報、避難判断水位情報(国・県)～

実施事項	概要	対象河川
洪水予報の発表	<ul style="list-style-type: none"> 彦根地方気象台の降水量予測と、滋賀県の基準観測所における水位予測の情報を両者が共同で洪水予報として発表。 洪水予報は、関係機関等に伝達するとともに、報道機関等を通じて流域住民に伝達。 はん濫注意情報、はん濫警戒情報、はん濫危険情報、はん濫発生情報 	日野川、姉川、高時川、野洲川上流、杣川、琵琶湖(以下、直轄河川)野洲川、草津川、瀬田川
避難判断水位情報の発表	<ul style="list-style-type: none"> 水位周知河川において、沿川住民の避難勧告等の目安となる水位(避難判断水位)を設定し、河川水位がこの水位を上回ったときに、はん濫警戒情報を発表。 	愛知川、姉川上流、安曇川(以下、直轄河川)草津川



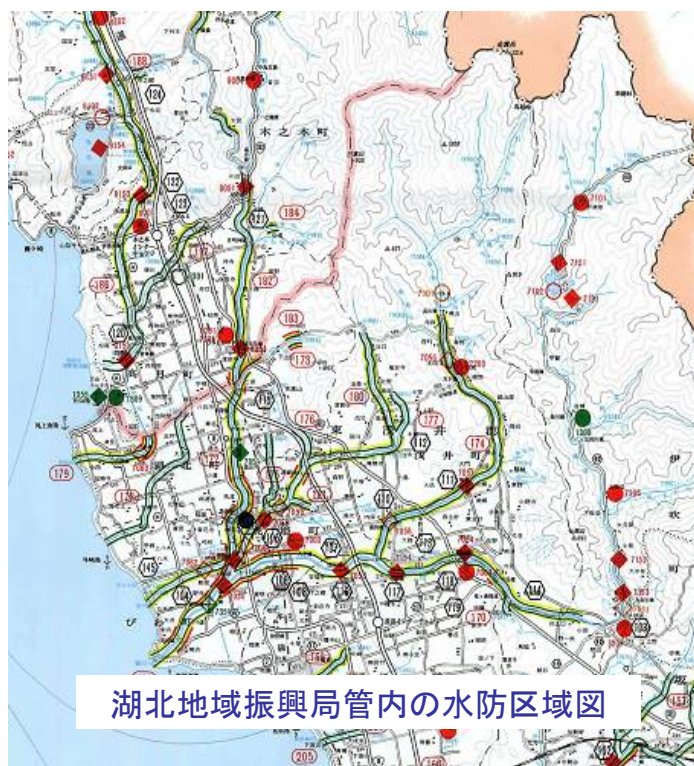
14:00に〇〇川で「はん濫警戒情報」が発表されました！



22

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～水防警報の発表・水防区域の公表(国・県)～



湖北地域振興局管内の水防区域図

水防警報の発表

- 対象とする量水標が一定の水位(通報水位・警戒水位)に達し、増水の恐れがあるとき、水防警報を発令し、**関係機関などに水防活動の準備や出動を要請**します。
- 水防警報河川
野洲川(水口橋)、杣川(北杣橋)、日野川(増田橋、桐原橋)、愛知川(紅葉橋、御幸橋)、姉川(国友橋、難波橋)、高時川(川合、錦織橋) 安曇川(舟橋、常安橋)
合計7河川12箇所

水防区域の公表

- 洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要とされる「重要水防区域」を公表。

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助

～浸水想定区域図の公表(国・県)～

公表済み河川:6河川

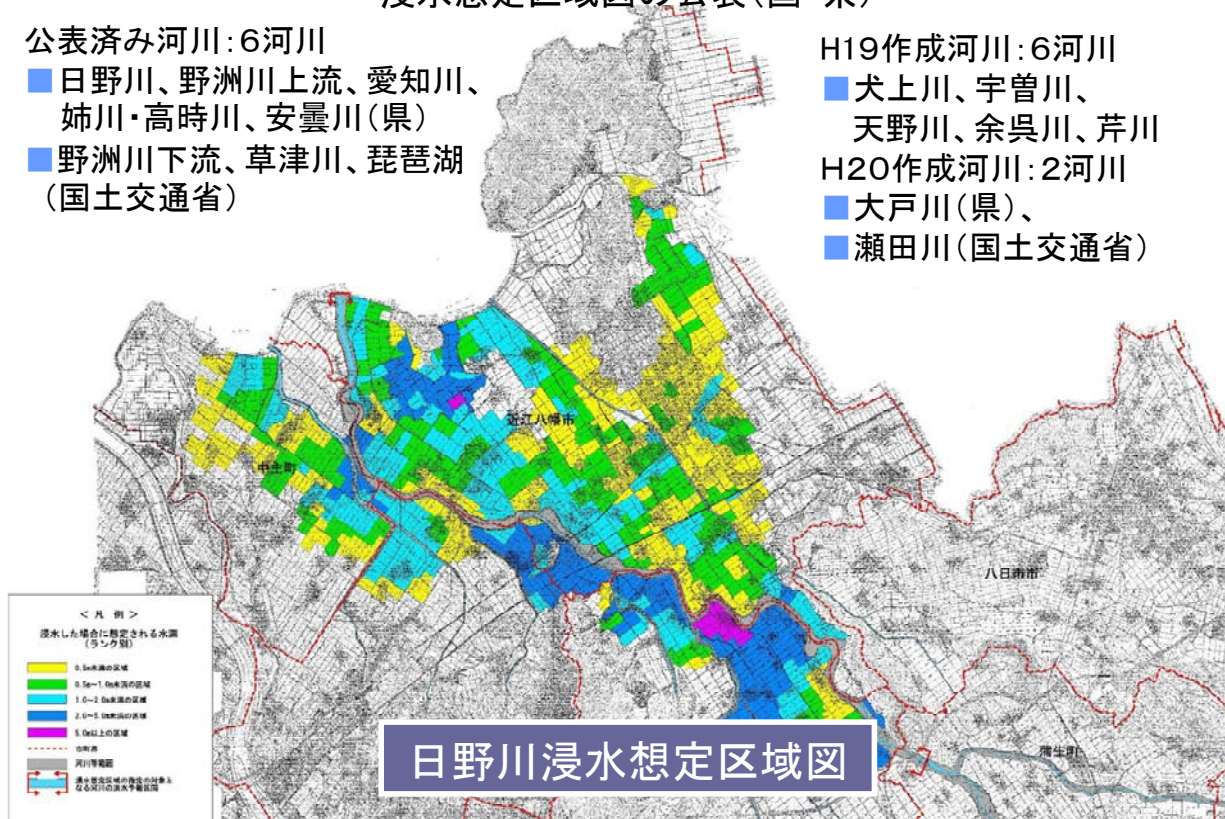
- 日野川、野洲川上流、愛知川、姉川・高時川、安曇川(県)
- 野洲川下流、草津川、琵琶湖(国土交通省)

H19作成河川:6河川

- 犬上川、宇曾川、天野川、余呉川、芹川

H20作成河川:2河川

- 大戸川(県)、瀬田川(国土交通省)



日野川浸水想定区域図

< 凡例 >
 浸水した場合に想定される水深(シナガ別)

- 0.5m以上の区域
- 0.5m-1.0m未満の区域
- 1.0-2.0m未満の区域
- 2.0-3.0m未満の区域
- 3.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の境界線(国土交通省)

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助 ～洪水ハザードマップの配布(市・町)～

愛知川洪水ハザードマップ 彦根市

彦根市では、洪水ハザードマップの作成を進めています。このマップは、浸水想定区域図をもとに、避難場所や避難時の注意事項などの情報を加え、各戸に配布されています。

多くのマップは、インターネットでも閲覧可能です。

滋賀県では、現在(平成20年4月)までに、26市町中12市町で配布。その他の市町でも作成中。

- 浸水想定区域図をもとに、市町が避難場所や避難時の注意事項などの情報を加え、各戸に配布。
- 多くのマップは、インターネットでも閲覧可能。
- 滋賀県では、現在(平成20年4月)までに、26市町中12市町で配布。その他の市町でも作成中。

現在、取り組んでいる『住民支援型』の公助 ～携帯電話やインターネットを通じたリスク情報の発信(県)～

- 携帯電話を通じた情報提供
県内の雨量、水位



<http://www.shiga-bousai.jp/mobile/kasen.html>

雨量情報

雨量経過表	
大津 花折峠	
2月22日	
	10分/累加
21時30分	0 / 0
21時20分	0 / 0
21時10分	0 / 0
21時00分	0 / 0
20時50分	0 / 0
20時40分	0 / 0
20時30分	0 / 0
20時20分	0 / 0
20時10分	0 / 0
20時00分	0 / 0
19時50分	0 / 0
19時40分	0 / 0

累加開始時刻

[1時間更新](#)
[戻る](#)

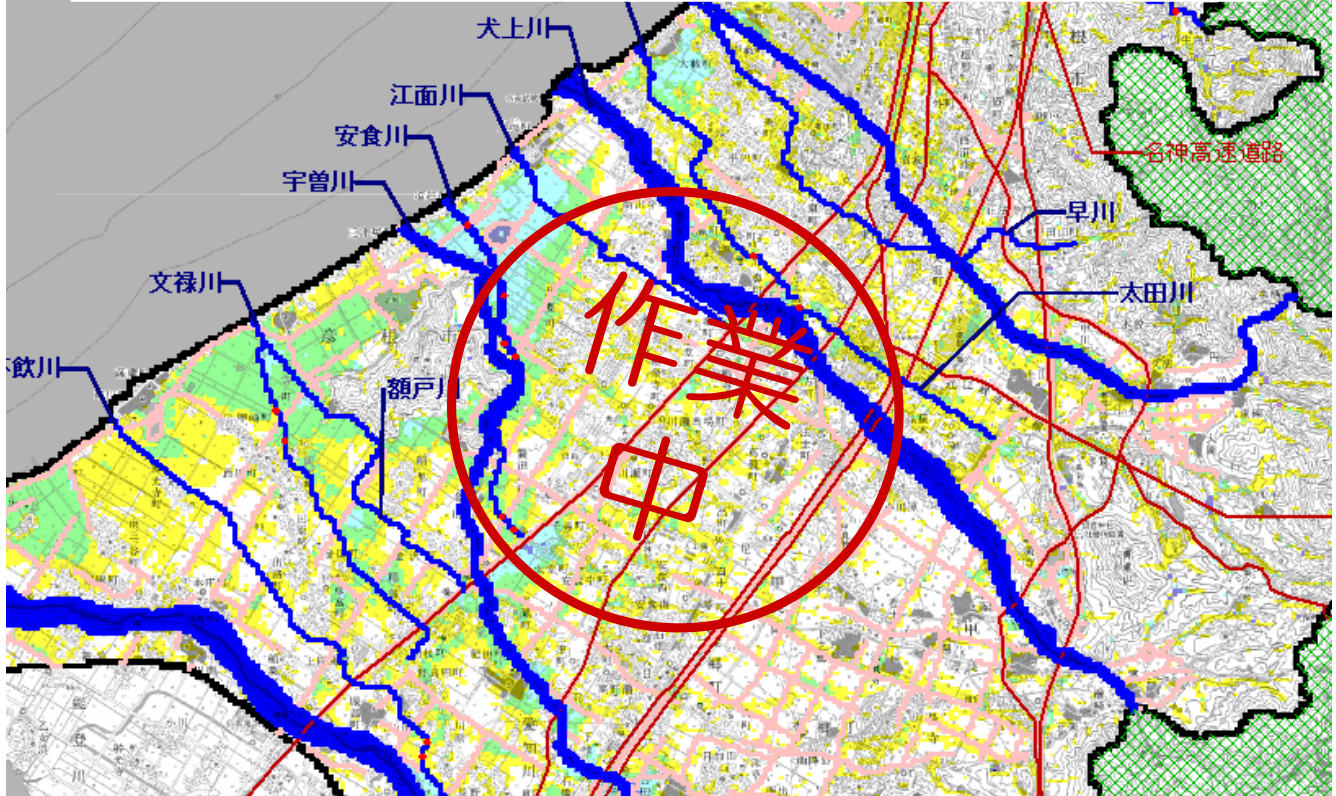
水位情報

水位経過表	
大津 中村橋	
2月22日	
	水位 増減
通報水位	1.80 m
警戒水位	2.90 m
21時30分	-0.51 →
21時20分	-0.51 →
21時10分	-0.51 →
21時00分	-0.51 →
20時50分	-0.51 →
20時40分	-0.51 →
20時30分	-0.51 →
20時20分	-0.51 →
20時10分	-0.51 →
20時00分	-0.51 →
19時50分	-0.51 →
19時40分	-0.51 →

[1時間更新](#)
[戻る](#)

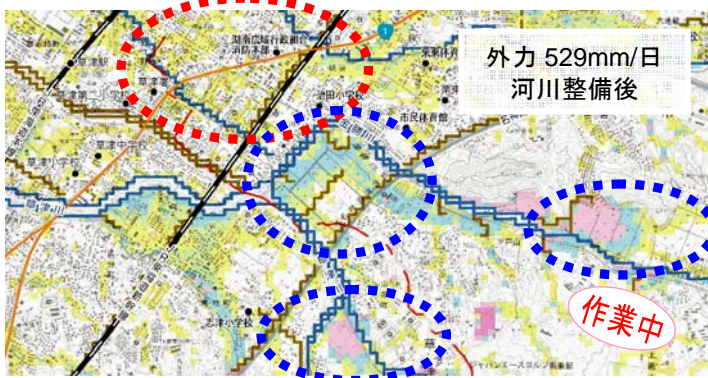
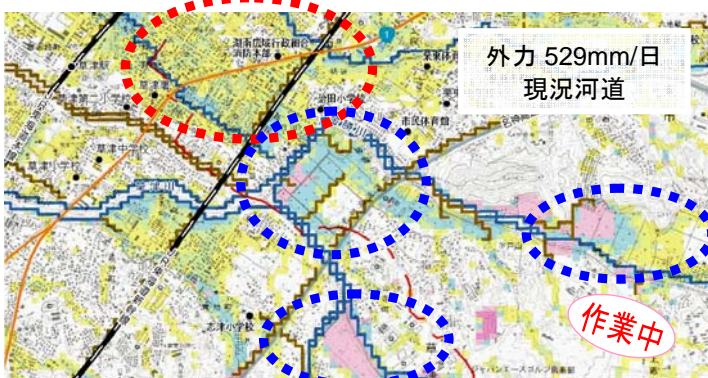
「知恵を広める」サポート

～より実感に近い、はん濫情報の提供～



「知恵を広める」サポート

～はん濫原全体の安全度の調査・公表～

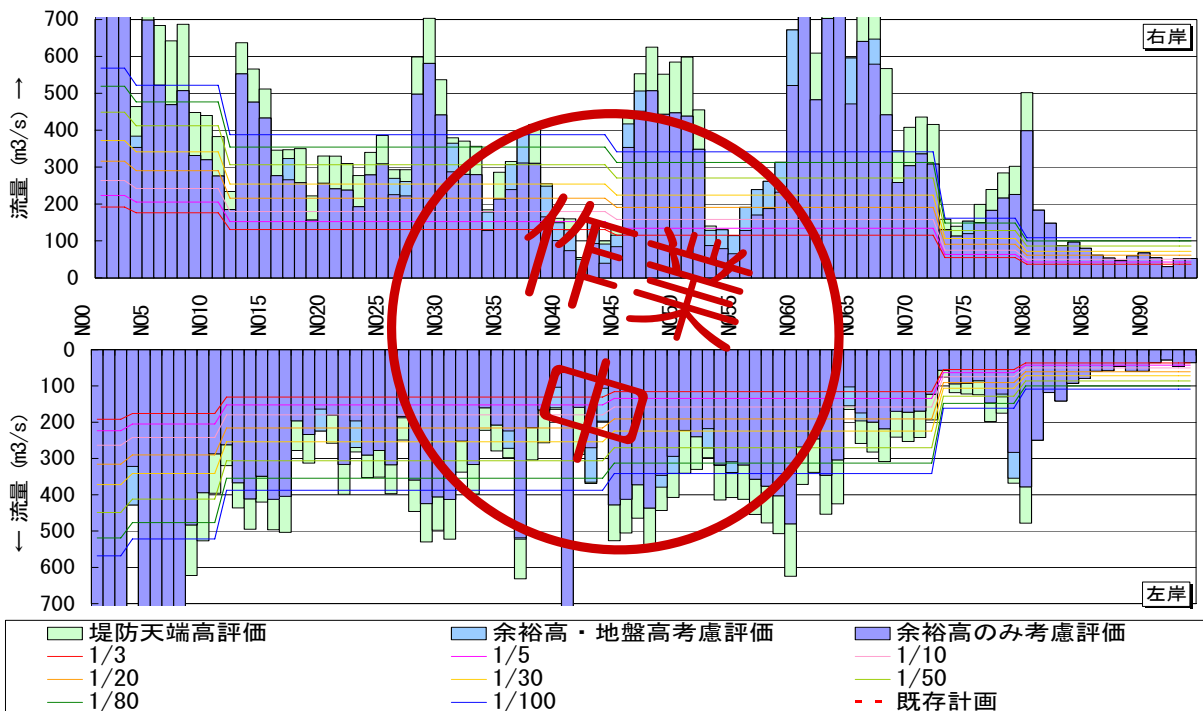


- 県下全域のはん濫解析 **作業中**
 - 複数の河川からのはん濫、普通河川も含めた内水はん濫を考慮
 - 河川備後のはん濫も解析
 - 高頻度(1/10)から低頻度(1/200)まで
- 河川整備の効果と、限界を理解する。
 - 効果的な河川整備、優先順位の検討
- 地域での対策につなげる。
 - 避難行動、危機管理の検討
 - 土地利用、住まい方の検討

「知恵を広める」サポート

～河川ごとの流下能力の評価～

- 県管理の主要河川(約240河川)で、最新の測量データを使って、流下能力の実態を再調査。9月中の公表に向け現在作業中。



「知恵を広める」サポート

～ハザードマップに命を吹き込む工夫(鴨川:京都市)～

- 浸水深に応じて避難方法を明示します。(屋内避難と屋外避難)

3m
以上の浸水

河川の洪水警報がでたら、3階以上へ避難する。

- 床上浸水(2階座敷まで浸水)
- 河川の水位情報に注意
- 水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険

● 早い決断で、避難所に移動

● 移動の際には雨量情報にも注意

● お年寄りなどの避難に協力を

● 河川の洪水警報がでたら、避難を始める

● 3日程度は、避難所で過ごす覚悟で

0.5~3m
未満の浸水

大雨洪水警報がでたら、2階へ避難する。

- 床上浸水(1階座敷が浸水)
- 被害額は床下浸水の7倍
- 雨量情報に注意
- 河川の水位情報にも注意

● 水流があるときに屋外を歩くことは不可能、きわめて危険

● 近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる

● 水・食べ物・簡易トイレ・懐中電灯・ラジオ・貴重品などを2階に持っていく

0.5m
未満の浸水

あわてずに! むやみな移動はかえって危険。

- 床下浸水(土間だけの浸水)
- 浸水深がひざ上になると歩行は危険
- 雨量情報に注意

● 地下への浸水

地上が冠水すると一気に水が流れ込んで来て脱出が困難になります。

● 浸水した道路には危険が潜む

移動はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所ではさぐり棒を持つなど、側溝や水路、マンホールに落ちないように十分注意しましょう。

● 移動は徒歩で

自動車は30cm程度の浸水でマフラーに水が入り、電気系統が故障して動けなくなる。

浸水により倒壊する事例より3mを閾値に

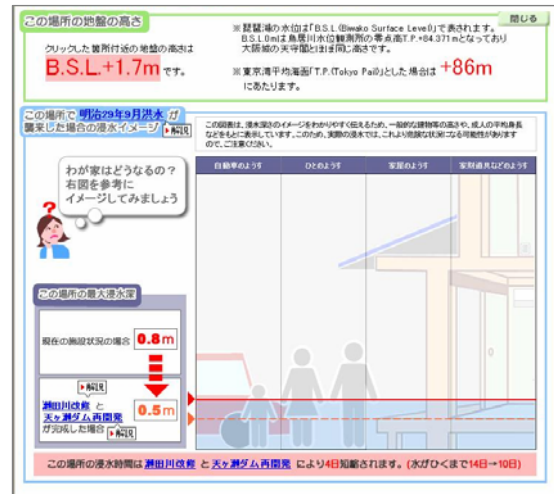
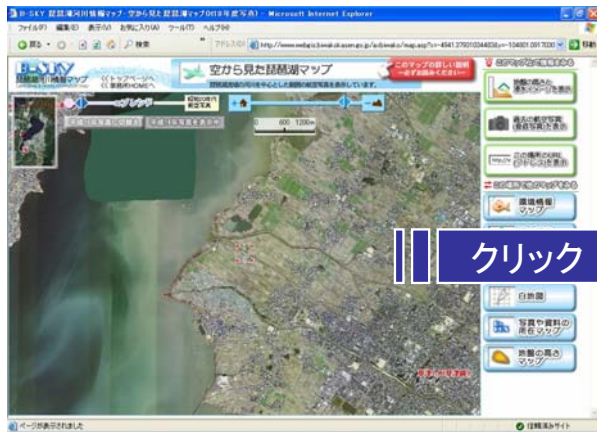
浸水想定区域内に住む人口	
浸水の区分	人口分布
3m以上	約 89,000人
0.5~3m未満	約 273,000人
0.5m未満	約 384,000人
京都市の人口	1,483,941人

(H17.1.1現在)

避難が必要な方を間接的に告示

「知恵を広める」サポート

インターネットを活用した河川情報の発信 B-SKY・B-BOX(琵琶湖河川事務所)
<http://www.bbox.biwakokasen.go.jp/mzBBOX/btop.html>



- 琵琶湖周辺、任意地点の地盤高や明治29年9月洪水時の浸水イメージが調べられるほか、様々な情報を表示(B-SKY)。
- 水害写真など、事務所が収集した情報を一般に公開(B-BOX)

31

「知恵を広める」サポート

水害写真データベースの公開(県立琵琶湖博物館)
<http://www.lbm.go.jp/emuseum/database/index.html>



検索画面



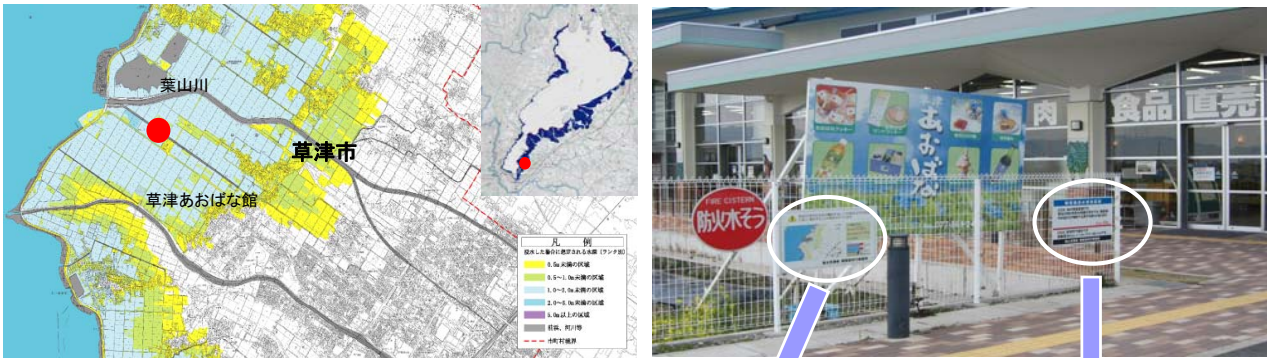
- 過去の水害写真を検索・閲覧可能。
- 年代別、場所別にデータベースが整理されている。

32

「知恵を広める」サポート

～浸水想定表示板の設置(草津市、琵琶湖河川事務所)～

■草津市下笠町 草津あおばな館での設置状況



明治29年9月と同様な洪水があった場合に、予想される浸水区域と浸水深を知らせるための標示板を設置

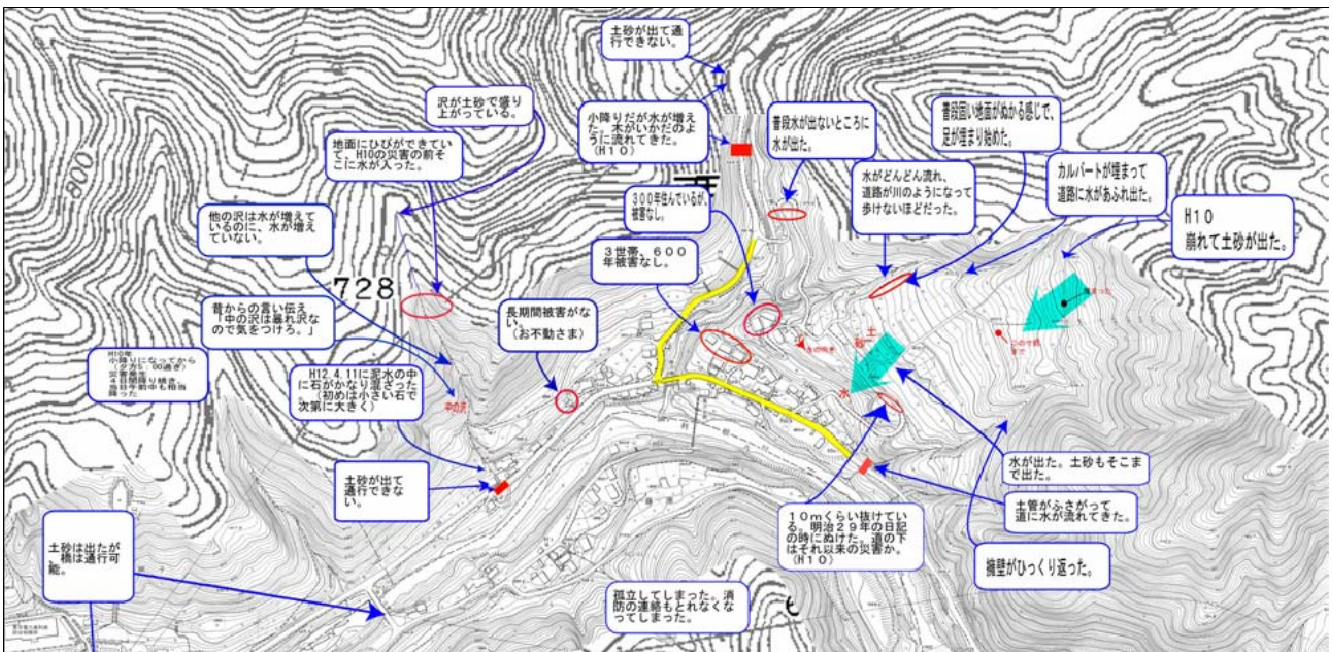


出典・資料提供: 近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 33

「知恵を広める」サポート

～地域に伝わる言い伝えを集約する場づくり(群馬県、群馬大学片田教授)～

■過去の災害時に、どんなことが地域に起こったのか？ 先祖から地域に伝わる『言い伝え』などをマップ上に記入



出典: 防災講演会(群馬大学大学院片田教授)資料の転載

「知恵を広める」サポート

～洪水位標により水害記録を伝承～

■ 台風23号(H16)の洪水位標(由良川)



■ 大津浪記念碑(岩手県宮古市)



高き住居は
見孫の和楽
想へ惨禍の
大津浪
此処より下に
家を建てるな

明治廿九年にも
昭和八年にも
津浪は此処まで来て
部落は全滅し
生存者僅かにも二人
後に四人のみ幾歳
経るとも要心何従

出典: 左 第5回由良川流域懇談会資料 35
右 群馬大学片田教授(神奈川大学防災講演資料より)

「知恵を広める」サポート

～洪水位標により水害記録を伝承～

- 昭和28年、明治29年水害などの記憶を風化させないため、当時の最高水位などを表示した石碑を設置

①千丈川(大津市)	昭和28年洪水
②草津川・金勝川(栗東市)	昭和28年洪水
③高時川(高月町)	大正10年洪水
④琵琶湖(高島市)	明治29年洪水
⑤琵琶湖(守山市)	明治29年洪水
⑥琵琶湖(大津市)	明治29年洪水



出典) 写真③ 近畿治水大会資料(2003)、写真⑤ 守山市HP「ふるさと守山デジタル資料集」、写真①及び⑥ 大津市HP

「知恵を広める」サポート

～まるとまちごとハザードマップ(荒川:東京都北区)～

■まるとまちごとハザードマップ

写真はイメージ



- 浸水深や避難所等洪水に関する情報を「まちなか」に表示することにより、発災時の安全かつスムーズな避難につなげる。
- 平成18年7月に国土交通省がガイドラインを公表。河川管理者と市町が連携し、全国各地で設置を検討。18年度は円山川(豊岡市)、刈谷田川(見附市)、江の川(三次市)で標識を設置。今後、平成21年度までにすべての国管理河川の流域で設置予定。

出典:国土交通省HP

「知恵を広める」サポート

～三世代交流型調査(琵琶湖河川事務所、子ども流域文化研究所)～

- 次世代への水害体験の伝承を目的とし、水害体験者への体験談インタビュー及びワークショップ開催を実施。同時に掘り起こした体験談や当時の水害写真のとりまとめを実施している。
- 滋賀県内では、高島市(安曇川、知内川、百瀬川)、甲賀市(大戸川)、大津市(千丈川)、長浜市(高時川)、守山市(野洲川)、野洲市(日野川)で実施

